

## 「愛知県がん対策推進計画」の推進に関する今年度の主な取組

愛知県がん対策推進計画	対応する事業
個別施策	
がんの予防の推進	○がん検診普及啓発事業 ○がん対策部会等の開催
がんの早期発見の推進	○がん検診従事者講習会開催
がん治療の推進	○がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金 ○陽子線治療普及協力事業
緩和ケアの推進	○がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金（再掲） 拠点病院が緩和ケア研修を実施
在宅療養の推進	○がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金（再掲）
女性に特有のがんに係る対策	●女性に特有のがん対策推進事業（新規）
小児がん対策	○小児がん患児復学支援検討事業
働く世代へのがん対策	●働く世代のがん検診受診促進事業（新規）
がんに関する相談支援及び情報提供の推進	●がん患者・家族に対する相談支援事業（新規） ○がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金（再掲）
がんの教育・普及啓発の推進	<主に教育委員会の所管>
がんに関する研究の推進	○がん登録事業 <主に病院事業庁の所管> ○がん診療連携拠点病院関係事務費 ○がん対策推進計画策定事業費

### 《平成 25 年度新規事業》

#### 1 女性特有のがん対策の取組状況

##### （1）女性特有のがん対策専門会議

愛知県がん対策推進計画（第2期）（平成25年3月策定）の個別目標である女性特有のがんに係るがん対策について、女性特有のがんに関する県民への適切な知識普及や女性ががんの検診や治療を受けやすい環境整備を推進するため、女性特有のがん対策専門会議を開催した。

##### ○ 日時

第1回会議：平成25年8月21日（水）午後3時～5時

第2回会議：平成26年1月22日（水）午前10時～正午

##### ○ 内容

第1回会議において、女性特有のがん対策について、現状の課題を整理分析し、今後の取組の方向性を協議した。現状の課題の整理分析にあたっては、検診機関、医療機関に対し、「女性が受診しやすい環境づくりに関する調査」を実施し、その取組状況を把握した。第2回会議においては、第1回会議の協議内容と調査結果を踏まえ、今後の取組の方向性を以下のとおりとりまとめた。本会議については、今後、協議内容を提言書としてとりまとめて終了し、次年度以降は提言書の内容に基づき、事業を進めていく予定である。

(協議結果)

協議内容	主な意見
女性特有のがんに関する正しい知識の普及について	<ul style="list-style-type: none"> <li>子宮頸がんとは乳がんでは、がん検診の受診勧奨年齢が異なるため、年齢層を絞ってで、効率的に実施することとし、初回受診年齢前後に重点的に行うことが必要である。</li> <li>がんに関心がなく、がん検診の意義を理解していない層への知識普及が必要であるため、啓発対象の年齢層が多く所属する団体等と連携して啓発を行うとよい。</li> </ul>
女性が受診しやすい環境づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果から、多くの医療機関等において、女性が受診しやすい環境づくりの取組が行われていることが分かった。そのため、がん検診受診促進や自覚症状がある場合の適切な早期受診が図られるよう、医療機関等と連携して、取組を推進するとともに、県民に向け、医療機関等に関する女性の立場に立った有用な情報提供等を行うことが必要である。</li> </ul>

## (2) 女性特有のがんに関する啓発フォーラムの開催

### ○ 女性のがん検診推進フォーラム

日 時：平成25年9月7日（土）午後3時～午後5時

会 場：名古屋医専総合校舎スパイラルタワーズ8階中ホール  
（中日健康フェア2013会場内で実施）

参加者：67名

目 的：子宮頸がんに関する正しい知識の普及

内 容：講演：「20代～30代女性に増加！子宮頸がん」

講師 名古屋大学医学部附属病院 講師 水野美香氏

パネルトーク：「子宮頸がんで命を落とさないために」

一宮市立市民病院看護師、子宮頸がん治療経験者、学生等による  
体験談及び意見交換

### ○ ピンクリボンフォーラムあいち

日 時：平成25年10月20日（日）午後1時30分～午後3時30分

会 場：刈谷市産業振興センター7階小ホール

参加者：98名

目 的：乳がんに関する正しい知識の普及

内 容：講演：「乳がんで命を落とさないために」

講師 愛知県がんセンター中央病院 副院長 岩田広治氏

パネルトーク：「がんになっても自分らしく暮らすために」

安城更生病院看護師、刈谷豊田総合病院医療ソーシャルワーカー、  
乳がん治療経験者等による体験談及び意見交換

### ○ 事業効果及び課題

来場者アンケートにおいて、2年以上検診未受診でフォーラムに参加したことにより検診を受けようと思った方が、9月のフォーラムでは87%、10月のフォーラムでは93%あり、検診受診促進の一定の効果が見られた。しかし、応募型フォーラムでは、既になんかに関心のある方の参加が多いため、がんに関心のない方への正しい知識の普及のため、次年度以降は女性が多く所属する団体と連携した講演会の開催を検討していくこととする。

## 2 働く世代へのがん対策の取組状況

### (1) 愛知県がん患者就労継続支援・がん検診促進検討会議

愛知県がん対策推進計画（第2期）（平成25年3月策定）の取組の方向性として掲げられた、「がん患者が治療と就労を両立できる環境づくり」のための課題の整理、対応策の検討、および働く世代の人々のがん検診受診率向上のあり方等について情報交換、検討を行い、がん患者の就労支援および働く世代のがん検診受診率の向上に向けて、県から産業界等へ働きかける情報提供のあり方等について検討する。

○スケジュール

#### ・平成25年11月13日（水） 第1回会議

- がん患者が治療と就労継続を両立できる企業等における環境整備の促進
- 県民に対するがん患者の就労継続に関する理解の促進
- 働く世代に対するがん検診による早期発見・早期治療の重要性の啓発
- 事業主や人事労務担当者に対する従業員のがん検診受診促進の働きかけ

現状、課題の認識や取組の方向性について各分野の専門家から意見聴取

#### ・平成25年12月13日（金） 企業へのアンケート実施

#### ・平成26年3月6日（木） 第2回会議

第1回会議での意見を踏まえ、アンケートの結果やその他の所要の検討材料の収集を行い、具体的な情報発信・働きかけの素案を提示して意見聴取

#### ・次年度も継続的に会議開催の予定



企業及び県民に対する情報発信・働きかけ

○ 第1回会議（11月13日）における委員の主な意見

産業医	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場の理解と体調不良や受診時間の確保等に関する配慮を企業の規模に応じてどこまでできるかが問題である。</li> <li>・社会に正確ながんに関する知識を普及させ、がん患者が短命である印象を払拭するとともに就労の意義を理解させ、その後に職場における環境を整備すべき。</li> </ul>
がん専門医	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、患者の仕事のことも把握して職場と連携して治療していくべきと感じる。</li> <li>・会社にとって、支援制度を整えることは長期的には従業員及び社会に評価され、会社の発展につながるのではないかと感じる。</li> </ul>
企業の人事担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん罹患時の相談窓口、休暇制度、休業時の手当といった会社の制度面の整備及び会社側の理解による業務配置等の人事面での配慮や様々なサポートがなされることが大切である。</li> <li>・一般的に私傷病への対応は、大手企業はルールをつくって対応しており、中小はルールづくりではなく経営者等の裁量、理解で対応している。</li> </ul>

## (2) 働く世代へのがん対策のためのシンポジウムについて

働く世代のがん検診の受診率向上や企業等におけるがん患者の治療と就労の両立の環境整備を促進するため、企業の人事労務担当者等を対象に知識普及を図る。

### ○ 働く世代のがん対策シンポジウム

【第1回】日 時：平成26年1月10日（金）午後3時～午後5時

会 場：Shine's ホール

参加者：80名

内 容：・がん専門医による講演

講師 名古屋大学医学部附属病院 化学療法部教授 安藤雄一氏

・産業医による講演

講師 大同特殊鋼株式会社 統括産業医 斉藤政彦氏

【第2回】日 時：平成26年3月25日（火）午後3時00分～午後5時00分

会 場：愛知県自治センター

参加者：一般県民、企業人事労務担当者、産業保健専門職、医療関係者など

内 容：・がん疫学医による講演

講師 愛知県がんセンター研究所 疫学予防部 部長 田中英夫氏

・産業医による講演

講師 トヨタ自動車株式会社 統括産業医 岩田全充氏

### ○事業効果及び課題：

第1回のシンポジウムの来場者アンケートでは、「働く世代のがん対策をすすめるために何が必要だと思いますか？」との問いに対して「社会へのがんの教育が必要」、「会社と社会の理解が必要」等の意見があり、企業の人事労務担当者へ対する講演は効果があるものと思われた。しかし、今回の企業関係者は愛知県経営者協会会員企業からの参加に止まったため、今後、中小企業をはじめとする更なる周知企業の拡大、一般県民が参加できる講演会を開催する必要がある。

### がん相談会の開催

#### ○ 事業概要

がん患者及びその家族を対象としたがん治療経験者による相談会を実施するとともに会場内に患者同士が交流できるスペースを確保して交流を支援

実施方法：NPO 法人に委託

実施場所・回数：一宮市駅前及び刈谷市駅前で毎月1回、土曜日又は日曜日に実施

#### ○実績（8月～10月分）

・一宮市（尾張一宮駅前ビル）：8月11日（日）、9月14日（土）、10月6日（日）

刈谷市（刈谷市総合文化センター）：8月25日（日）、9月28日（土）、10月20日（日）

・利用目的

がん相談のため（本人）…14件、がん相談のため（家族）…5件、その他…2件

・主な相談内容（延べ件数）

内容	患者本人	家族	内容	患者本人	家族
治療（抗がん剤治療）	2		補完代替療法	1	
副作用	2	1	再発・転移の不安	3	
術後の症状	5		仕事・経済面	2	
医師との関係		1	経過報告	1	
病院選び	1		家族の接し方	1	1
セカンドオピニオン	1		在宅支援	2	1
メンタルヘルス	6	1	その他	3	